

環境レポート

2008年度

寿木材工業株式会社

ご挨拶

近年におきまして環境問題は避けて通ることのできない状況になってまいりました。

地球温暖化や、さまざまな側面からの地球規模での問題になっております。

弊社は昭和2年に創業して以来、木材という自然の恵みを通して事業活動を行ってまいりました。2003年5月に大津環境フォーラム第1号としてKESステップ2を認証取得し環境負荷低減に取り組んでおります。

今後も、僅かなことでも少しずつの積み重ねによって環境保全、環境改善、社会貢献に取り組んでまいりたいと考えております。

寿木材工業株式会社
代表取締役 結城久喜

環 境 宣 言

基本理念

寿木材工業株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷低減に努力します。

方 針

寿木材工業株式会社は木製品の製造・販売に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 電力使用量の削減
 - (2) エコ製品購入の推進
 - (3) 産業廃棄物の削減
 - (4) 工場周辺の清掃等啓発活動
 - (5) オフィス紙の再資源化の推進
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実行できるように、この環境宣言を全従業員に周知徹底するとともに社外へも公表します。
5. アジェンダ21 大津のパートナーシップに基づく地域の環境改善活動に積極的に参画します。

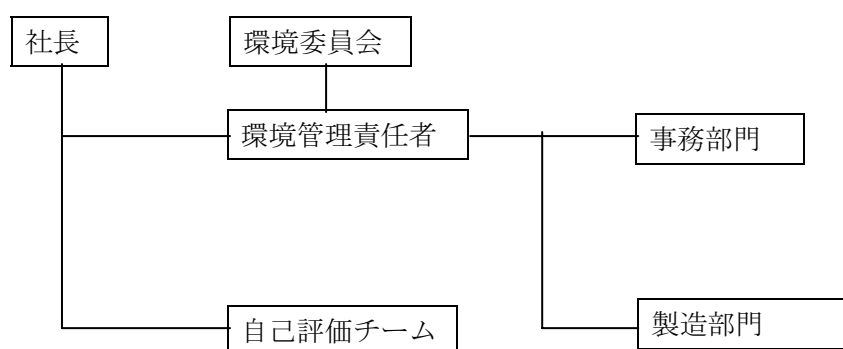
上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

改定日 2007年 1月 24日
寿木材工業株式会社
代表取締役社長 結城 久喜

会社概要

①会社名	寿木材工業株式会社
②所在地	滋賀県大津市秋葉台8番10号
③事業内容	木製品製造販売
④代表取締役	結城久喜
⑤資本金	28,000,000円
⑥従業員	11名
⑦敷地面積	5,968.43平方メートル
⑧延床面積	1,769.95平方メートル
⑨沿革	1952年8月1日資本金50万円にて設立 1960年8月資本金を150万円に増資 1968年9月資本金を700万円に増資 1970年9月資本金を1,400万円に増資 1977年7月資本金を2,800万円に増資 2003年5月KESステップ2取得 2006年3月大津市環境保全協定締結 2008年12月滋賀県環境保全協会入会 現在に至る

I. 環境活動の取り組み体制



II. 認証取得内容

KES 登録証

登録日：2008年5月31日

登録番号：KES2-1-001

Ⅲ. 環境活動の内容と実績

2008年度環境改善活動実績

環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
省エネルギー 2007年度比 1%以上削減 売上100万円当 Kwh/m円	<ul style="list-style-type: none"> 設備電源空運転時停止 エアコン温度適正管理 休憩時間の消灯 不必要な電灯の消灯 エアーコンプレッサーの圧力適正化 	186 Kwh/m円	188 Kwh/m円	B
グリーン調達 事務用品等のエコロ ジ 製品購入率 50% 以上	<ul style="list-style-type: none"> エコ商品カタログの活用 エコ商品への切替の推進 詰め替え用も対象とする 	50%	55%	A
産業廃棄物の削減 2007年度比 1%以上削減 売上100万円当 m3/m円	<ul style="list-style-type: none"> 歩留の向上 木質燃料化の推進 木質ボードへのリサイクル 	1.067 m3/m円	1.057 m3/m円	A
環境調和 工場周辺の清掃 年 24回	工場周辺及び付近の歩道を毎月清掃	24回/年	24回/年	A
再資源化 オフィス紙再資源化 年 14回	再生原料への再資源化	14回/年	14回/年	A

IV. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、関係する機関や関係者からの指摘・訴訟等はありません。

V. 2008年度活動の評価と今後の課題

残念ながら電力削減におきましては、達成率99%となり目標達成できませんでした。6年間で初めての未達成となりました。電力削減は2009年度の環境改善目標からは除外することにしましたが、今後は維持目標として従来通り活動して参ります。電力削減の変わりの新しい目標としては、教育機関に対する加工端材の提供としました。従来から行って来た活動ですが、社会貢献も踏まえた目標であります。各目標が達成できるよう全社一丸となり努力してまいります。